広報
あきた
市民の生活情報誌

晴れやかな一年でありますように

今年５周年を迎える〝あきた舞妓〟のみなさん 。「９ページもご覧くださ〜い」（千秋公園・あきた文化産業施設「松下」で）

新春市長コラム

新しい時代へ、つなぐ

ミニ特集

◆平成〜秋田市の出来事

◆インスタ映えスポットはここっ！

新年特別号
第１・第３金曜日発行
2019（平成31）年
1月4日号
NO.1928

除排雪のお問い合わせはコールセンターへ
▶☎(888)9400（午前８時〜午後８時）

新春
市長コラム

日々初心

新しい時代へ、つなぐ
一日、一日を大切にしながら

秋田市長 穂積 志

明けましておめでとうございます。

２０１９年、新しい年の幕開けをみなさんいかがお過ごしでしょうか。

最近は、ＳＮＳや電子メールで新年の挨拶をすることも珍しくないようですが、普段会えない友人や知人などからはがきの年賀状をいただくのも、やはりうれしいものです。

毎年、年賀はがきと同時に発売される年賀切手。今年の干支、亥（いのしし）の図柄には、八橋地区に伝わる土人形「八橋人形」のいのししが採用されました。

２０１８（平成30）年11月1日㈭発行
平成31年用年賀82円郵便切手（八橋人形〈干支・亥〉）

素朴で親しみ深い「八橋人形」は、江戸時代の中頃に京都の伏見から移り住んだ人形師が伝えたともいわれ、学問の神様・菅原道真公をまつった八橋地区の菅原神社の天神信仰などと結びつき、縁日にはたくさんの人形屋でにぎわうなど、庶民も気軽に買える人形として長く愛されてきたそうです。

戌年の昨年は、「秋田犬ふれあい処in千秋公園」に約３万人ものかたがたをお迎えするなど、秋田犬の話題で大いに盛り上がりました。今年も干支にちなんで、秋田の暮らしに根付いてきた伝統的な郷土玩具に注目が集まり、明るい話題で一年のスタートを切られることを大変うれしく思っています。

平成―100歳から130歳に

「平成」も残りわずかとなり、５月１日には元号が新しくなります。

平成元年は、市制施行100周年。明治22年４月１日、秋田町が秋田市に生まれ変わってから、ちょうど100歳の誕生日でした。これを記念して、千秋公園に市街地を一望できる久保田城御隅櫓が復元され、アトリオンには千秋美術館がオープンするなど、中心市街地をはじめ、全市でさまざまな事業が行われました。

市制施行100周年記念モニュメントは今も市庁舎の前に

平成の本市の歩みをたどると、秋田公立美術工芸短大の開学（平成７年）、中核市への移行（９年）、旧河辺町・雄和町との合併（17年）、秋田わか杉国体の開催（19年）、エリアなかいちのオープン（24年）、秋田公立美術大学の開学（25年）、新庁舎のオープン（28年）などをはじめ、たくさんの出来事がありました。

そして今年は、市制施行130周年。市のさまざまな企画や行事の際に130周年をＰＲすることで、本市のこれまでの歩みに思いを致し、郷土への誇りや愛着を深めるきっかけになればと思っています。

＊SNS＝「Social Networking Service」の略。インターネットを介した情報交流手段。

太平川沿いの桜並木

白のジャージがフィジー共和国のラグビー代表チーム

秋田駅ぽぽろーど。秋田杉をふんだんに使用した温もりある雰囲気です

「県都の顔」としての整備が計画される秋田駅西口駅前広場

ラグビーワールドカップ―フィジー代表の事前合宿を

今年はいよいよ「ラグビーワールドカップ2019」が日本で開催されます。オリンピック、サッカーワールドカップとともに、世界三大スポーツイベントといわれ、最高峰のプレーを間近で見られる絶好の機会です。秋田市では、フィジー共和国代表チームの事前合宿受け入れに向け、ホストタウン交流計画に基づいて、中学生ラグビーチームの相互交流などを行いながら誘致を進めてきました。

〝4年に一度じゃない。一生に一度だ。〟

大会の公式キャッチコピーのとおり、次代を担う子どもたちをはじめ、市民の心に一生刻まれる経験になることを大いに期待しており、私もチームをお迎えできることを心待ちにしています。

＊誘致結果については、改めて広報でお知らせします。

民間による秋田駅周辺の新たなまちづくり

秋田駅周辺では、ここ数年、民間事業者が主体となったまちづくりが進められています。

西口では、平成29年3月にJR東日本秋田支社が新築・移転し、その跡地では秋田放送新社屋の建設が進んでいます。同年4月には、秋田駅西口の施設がグランドオープン。秋田杉を活かした秋田駅の木質化プロジェクトが完了し、駅舎機能や商業施設、立体駐車場も充実しました。また、「秋田版CCRC拠点整備事業」として、地元の不動産会社が金融機関と協力し、多世代共生型CCRCマンションの整備を進めています。

東口では、JR東日本のバスケットボールチーム「ペッカーズ」や秋田ノーザンハピネッツの練習拠点となる体育館と保育施設などを一体的に整備する「JR秋田ゲートアリーナ計画」が進んでいるほか、合宿所を兼ねた学生向けマンションも建設中です。

こうした民間のまちづくりの動きもあって、地価の下げ止まり傾向も続いています。中心市街地活性化に向けた大きな前進と感じており、最近の秋田駅とその周辺がにぎわう様子をご覧になっていないかたは、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

駅前の芝生広場でのんびりと

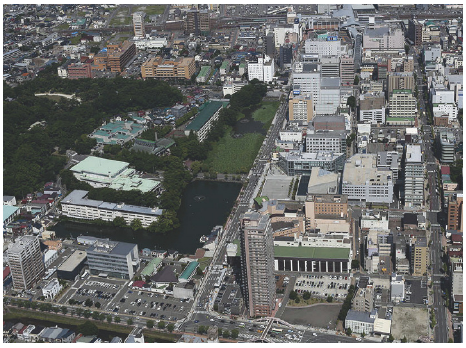
民間の動きに呼応して、本市も秋田駅西口駅前広場の整備を計画しています。秋田放送新社屋とぽぽろーどとの間の区域について、既存の乗降場を改修するほか、のびのびくつろげる芝生広場などとして整備し、ぽぽろーどの軒下の空間を一体的に活用したマルシェの開催などもイメージしながら、「県都の顔」にふさわしい広場となるよう検討を進めており、新社屋での放送開始に合わせ2020年春の完成をめざしています。

〈次のページへつづきます〉

＊CCRC＝「Continuing Care Retirement Community(継続的なケア付きの高齢者の共同体)」の略。

千秋公園お堀のハス

県・市連携文化施設の完成予想図。右が中土橋側から見た外観、左が２千席を備えた高機能型ホール



芸術文化ゾーンとして充実が図られる中心市街地

中心市街地を芸術文化ゾーンに

秋田駅から、広小路や仲小路を進み、千秋公園に至る一帯には、県立美術館や千秋美術館、にぎわい交流館などの文化施設が集積しています。

まちや暮らしの中に根付く身近な「文化」と、日常に新たな視点を与え、感性を刺激する「芸術」は、私たちの心に豊かさや潤いをもたらし、さらには、人やまちに新しい価値を見い出し、未来を創る力を育むものと考えています。

こうした考えもあって、市では、成長戦略の重点プログラムに「芸術・文化によるまちおこし」を掲げ、中心市街地を芸術文化ゾーンとして充実させるため、「千秋公園をバックグラウンドとした魅力ある芸術文化の香り高い空間の創造」に取り組んでいます。

県・市連携文化施設 ― 2021年度中の開館をめざして

その核となる事業の一つが、県・市連携文化施設整備事業です。

この施設は、全県をカバーする県民会館と、県都秋田市の文化会館の機能を継承するもので、県・市が別々に整備するよりも整備費の大幅な縮減が図られるほか、コンベンションなどでホールの一体的利用が可能になるなどメリットが大きく、人口減少下の公共施設の効率的な整備手法として、わが国における今後のモデルになり得ると考えています。

建物は地上6階、地下1階の7層構造。２千席の「高機能型ホール」と800席の「舞台芸術型ホール」を備え、施設内には、練習室や研修室、小ホールにもなるリハーサル室、各種展示会にも使用できる多目的スペース、レストランなども配置する予定です。現在、県民会館の解体工事が行われており、今年春頃には本体工事に着工し、2021年度中の開館をめざして整備を進めているところです。

旧県立美術館の活用 ― 「せばなるあきた」

もう一つの核となる旧県立美術館の活用については、昨年7月以降、市民とともに中心市街地一帯の未来像を描き、同館をフィールドに、実現したい夢の企画を考える「せばなるあきた」と題したワークショップを4回開催してきました。目的は次の4つ。

- 旧県立美術館を活用することで実現したい、「ありたい」まちの未来を考える
- それを実現するために…旧県立美術館の「こんな場所になればいい」「こんなのがあればいい」を考える
- 集まったみなさんの関係性を深める
- 旧県立美術館とその周辺がにぎわうワクワクを考える

秋田国際ダリア園

新春
市長コラム
日々初心

＊現在、運営管理計画素案に対するご意見を募集しています(企画調整課)。

旧県立美術館は「(仮称)秋田市文化創造交流館」として、2020年度の開館をめざしています

旧県立美術館の活用について、意見を出し合った「せばなるあきた」

一般の市民や学生はもちろん、NPO法人アーツセンターあきた、秋田公立美術大学、秋田高専、市内の経営者、地域おこし協力隊など、さまざまな経験や意見を持ったかたがたの参加・協力のもとで検討した内容は、年度内に作成する運営管理計画に盛り込んでいきます。「運営管理計画」という名称からはちょっと想像できない、「読みたい」「気になる」と思わせるような内容になればと考えていますので、ご期待いただきたいと思います。

鮮烈—金農ナインがくれた記憶

平成30年、最も印象に残ったのは、夏の甲子園で見事準優勝に輝いた金足農業高校野球部の活躍でした。秋田でたくましく育った球児たちが全力でひたむきにプレーする姿は、秋田を一つにし、私たちに大きな感動と鮮烈な記憶を残してくれました。

なかでも印象的だったのは、準々決勝の近江高校戦のサヨナラツーランスクイズ。「奇跡」「ミラクル」といった見出しが新聞やインターネット上に躍り、野球の本場アメリカの新聞でも、称賛の意味を込めて「クレイジー」と伝えられたそうです。

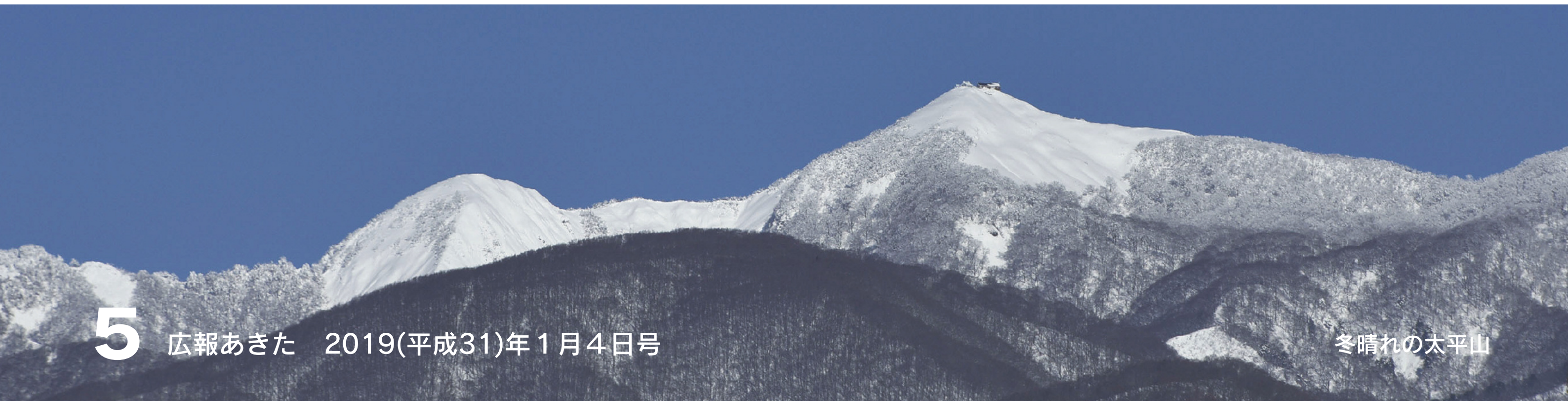
まさに劇的でありました。でもそれは、「人間の力を超えた出来事」というニュアンスのある「奇跡」ではなく、日頃のたゆまぬ努力で彼ら自身がもぎ取った勝利、こじ開けた勝利の扉だったのだと思います。

市民の誇りとなる卓越した活躍に対し、本市では昨年11月、同校野球部に秋田ふるさと市民賞をお贈りしました。副賞の制作は新屋ガラス工房に依頼し、学校にはホームベース型のガラス製記念盾を、選手一人一人には、甲子園の砂を入れるための野球ボール型のガラスボトルを贈り、地元の若手ガラス作家による特別な作品を「家宝にする」などと大変喜んでいただきました。

金農ナインの活躍に刺激を受けて、次は大人が頑張る番だという声を何度も聞きました。私も〝日々初心〟、「誰かのために頑張る」という初心を忘れずに、まちへの誇りと愛着を育みながら、元気な秋田市を「次世代に、つなぐ」ため、市勢発展に向けた歩みを「さらに、前へ」と進めていく決意を新たにしています。

みなさま、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

秋田ふるさと市民賞表彰式での金農野球部のみなさん(上の写真)と、記念盾(左)とボトル



冬晴れの太平山

受け継がれる30年 未来へのステップ

振り返る秋田市の〝平成〟

秋田市制施行100周年とともに始まった「平成」。この時代の節目に、秋田市のおもな出来事を広報あきたから拾い読み、30年を振り返ります。

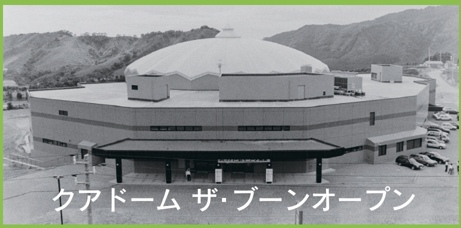
平成11年4月
▶広報あきたがタブロイド判から現在のA4サイズに

平成4年4月
姉妹都市のドイツ・パッサウ市から贈られた「友情の鐘」除幕式を実施

平成元年7月
市制100周年記念式典開催

平成13年8月
「第6回ワールドゲームズ in 秋田」開催。競技選手は世界から！

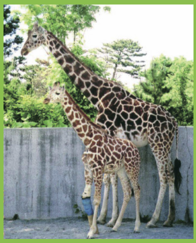
平成9年3月
秋田新幹線が開業



平成3年8月
クアドーム ザ・ブーンオープン

平成10年5月
各界の文化人らが集った「第20回日本文化デザイン会議 '98秋田」開催

平成4年12月
太平山スキー場オーパスオープン



平成14年6月
▶義足のキリンたいようが天国へ
（写真手前）

〝ザ・平成〟秋田市のおもな出来事

元年7月▶御隅櫓と佐竹義堯公銅像が完成
11月▶千秋美術館オープン
2年4月▶佐竹史料館オープン
10月▶国勢調査での秋田市の人口が30万人突破
3年7月▶秋田自動車道秋田南IC～横手IC間開通
4年1月▶アメリカ・キナイ半島郡と交流合意都市提携
6月▶ロシア・ウラジオストク市と姉妹都市提携
8月▶民俗芸能伝承館オープン
5年1月▶秋田市役所が完全週休二日制に
4月▶消防本部で高規格救急車を導入
6年4月▶ポートタワー・セリオンオープン
▶市立体育館オープン
7年4月▶秋田公立美術工芸短期大学が開学
8年4月▶アトリエももさだオープン
9年4月▶秋田市が中核市へ移行
10年3月▶秋田南大橋が開通
4月▶秋田城跡外郭東門・築地塀公開
7月▶秋田市情報公開制度スタート
11年4月▶中高一貫校の御所野学院中学が開学（高校は翌年）
7月▶市制110周年記念式典開催
▶秋田港に定期フェリー便が就航
12月▶八橋に秋田市保健所が移転
12年7月▶秋田駅ぽぽろーどが全面開通
8月▶2000年国連軍縮秋田会議開催
13年3月▶千秋公園表門完成
4月▶市営ガス事業を民間へ移管
11月▶秋田大橋が開通
14年4月▶総合環境センター新溶融炉が稼働
15年8月▶太平山自然学習センターまんたらめオープン
16年7月▶環境都市あきた宣言記念式典開催
17年1月▶秋田市・河辺町・雄和町が合併
4月▶水道局と下水道部が一つになり上下水道局としてスタート

〈過去の広報あきたから、各年ごとに特徴ある出来事をピックアップしました。紙面の都合で掲載できなかった出来事が多々ありますが、30年のおもな流れということでご覧ください（広報広聴課）〉

謹賀新年

市長 穂積 志
副市長 石井 周悦
副市長 鎌田 潔

秋田市議会
議長 小林 一夫
副議長 花田 清美
議員 鈴木 知
〃 藤枝 隆博
〃 工藤 新一
〃 長澤 孝政
〃 武田 正子
〃 松田 豊臣
〃 宇佐見 康人
〃 藤田 信
〃 武内 伸文
〃 安井 誠悦
〃 見上 万里子
〃 細川 信二
〃 安井 正浩
〃 田中 勉
〃 川口 雅丈
〃 佐藤 純子
〃 倉田 芳浩
〃 伊藤 巧一
〃 佐藤 哲治
〃 小松 健
〃 齊藤 勝
〃 佐藤 宏悦
〃 伊藤 一榮
〃 熊谷 重隆
〃 菅原 琢哉
〃 渡辺 正宏
〃 岩谷 政良
〃 小野寺 誠
〃 石塚 秀博
〃 成沢 淳子
〃 小原 譲
〃 渡辺 良雄
〃 齊藤 善悦
〃 工藤 四郎
〃 鎌田 修悦
〃 小木田 喜美雄
〃 赤坂 光一
（議席順）

平成27年５月

「東北六魂祭2015秋田」開催

平成19年９月

秋田わか杉国体・秋田わか杉大会を開催。開会式は県営陸上競技場で

平成16年７月

秋田市・河辺町・雄和町が合併協定書に調印。翌年１月に合併へ

平成28年５月

市役所新庁舎が開庁

平成24年７月

エリアなかいちオープン

平成25年４月

秋田公立美術大学が開学

平成16年８月

７月にオープンした秋田拠点センターアルヴェで、「秋田市建都400年記念式典」を開催

ねんりんピック秋田2017
平成29年９月

平成26年10月

「第29回国民文化祭あきた２０１４」開催

〝ともにつくり ともに生きる 人・まち・くらし〟の実現に向けて！

18年３月▶市営バス事業が終了
６月▶アメリカ・セントクラウド市と姉妹都市提携
19年９月▶秋田中央道路開通
10月▶秋田市水道100周年記念式典開催
20年７月▶ふるさと納税「きずなでホットしていあきた寄附金」始まる
12月▶市議会で「はずむスポーツ都市宣言」を決議
21年５月▶西部市民ＳＣがオープン
７月▶市制120周年記念式典開催
22年７月▶セリオンが道の駅に
23年５月▶北部・河辺・雄和の各市民ＳＣがオープン
10月▶高齢者コインバス事業始まる
24年７月▶秋田市災害対策基本条例を施行
▶家庭ごみ有料化始まる
25年10月▶総合環境センターにメガソーラー完成
26年４月▶市立病院が地方独立行政法人に移行
５月▶南部市民ＳＣがオープン
27年８月▶東部市民ＳＣがオープン
10月▶秋田市男女共生推進都市宣言記念式典開催
28年４月▶秋田城跡歴史資料館がオープン
５月▶中央市民ＳＣがオープン
10月▶「秋田市版ネウボラ」始まる
▶日本女性会議２０１６秋田開催
12月▶「土崎神明社祭の曳山行事」がユネスコ無形文化遺産登録決定
29年４月▶「北前船寄港地船主集落」が日本遺産に認定
７月▶新屋ガラス工房オープン
10月▶旧秋田藩主佐竹氏別邸（如斯亭（じょしてい））庭園公開
30年３月▶土崎みなと歴史伝承館オープン
４月▶第１子保育料無償化事業始まる
10月▶第141回秋田県種苗交換会開催

SC＝サービスセンターの略

＊開催月がまたがるものは、開始月のみ記載しています。

思わず撮りに行きたくなるね

たくさん"いいね♥"をもらえちゃう!? "インスタ映え"スポット5選！

寒いからといって、お家の中でゴロゴロしていませんか？ そんなあなたに、いま流行りの"インスタ映え"スポットをご案内！ 冬だからこそ、お正月だからこそのスペシャルな風景に出会えるかも〜。ぜひお出かけください！

秋田市のおすすめスポットは、公式インスタグラムでも随時紹介しています。フォローしてね♪

アクセスはQRコードから↓

土崎みなと歴史伝承館

熱い夏を思い出す、大迫力が目の前に！

何といっても高さ11.5㍍の特大サイズの曳山が圧巻！ かなり見上げないと写真におさまらないほどの大迫力！

その他にも、北前船の模型(10分の１サイズ)や港ばやしの実演など見どころたくさん♪ 実演の日程など、詳しくは同館ホームページをご覧ください。

開館時間▶9:00〜17:00
休館日▶火曜日、年末年始　**入館料**▶無料

今年度は開館記念として12月29日(土)・30日(日)、１月２日(水)・３日(木)に開館します！

住所▶土崎港西三丁目10-27　**問**▶☎(838)4244
ホームページ▶http://tuchizaki.com/

クオリティ高い作品の数々！

新屋ガラス工房

建物の内と外、どっちもインスタ映えの宝庫♪ ショップには、カラフルなガラスの食器や小物が季節ごとのテーマで並べられ、思わずシャッターを押したくなるスポットです。

カフェで使われている器には工房オリジナル作品もあって、見た目と味の両方を楽しむことも!!

開館時間▶9:00〜17:00　**休館日**▶火曜日、年末年始(今年度は12/28(金)〜１/４(金))　**入館料**▶無料
住所▶新屋表町５-２　**問**▶☎(853)4201
ホームページ▶https://araya-glass.akita.jp
＊一部撮影不可の作品もありますのでご了承ください。

千秋公園

春夏秋冬、どの季節も見逃せない！

あきた舞妓のみなさんもおすすめの千秋公園。春のお花見、秋の紅葉など、四季折々、色とりどりの景色を楽しむことができます。

特に、大手門のお堀がおすすめ。夏は一面にハスの花が咲き誇り、冬は水面になかいちのイルミネーションが映り込んで幻想的な雰囲気になります。

〝会える秋田美人〟あきた舞妓にもぜひ会いに来てくださいね～♪

◆あきた舞妓…千秋公園内のあきた文化産業施設「松下」を中心に活動中。毎週土曜日には「あきた舞妓劇場」を開催しています(要予約)。

詳しくは、次のホームページをご覧になるかお問い合わせください。http://www.matsushita-akita.jp

問▶株式会社せん☎(827)3241

雪吊りした松と青空

ゆったり時が過ぎる癒やしの空間

旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園

季節によって、さまざまに表情を変える旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園。特に主屋からの眺めは格別です♪ 今の時期は、ふんわり雪化粧した庭園が見どころのひとつ。風情ある景色に癒やされてみませんか？

開園時間▶ 12月～３月＝9:30～16:00
４月～11月＝9:00～16:30
休園日▶年末年始(今年度は12/29(土)～１/３(木))
入園料▶一般200円、高校生以下無料
住所▶旭川南町２-73　**問**▶☎(834)6300

なかいちウインターパーク

あきた光のファンタジー

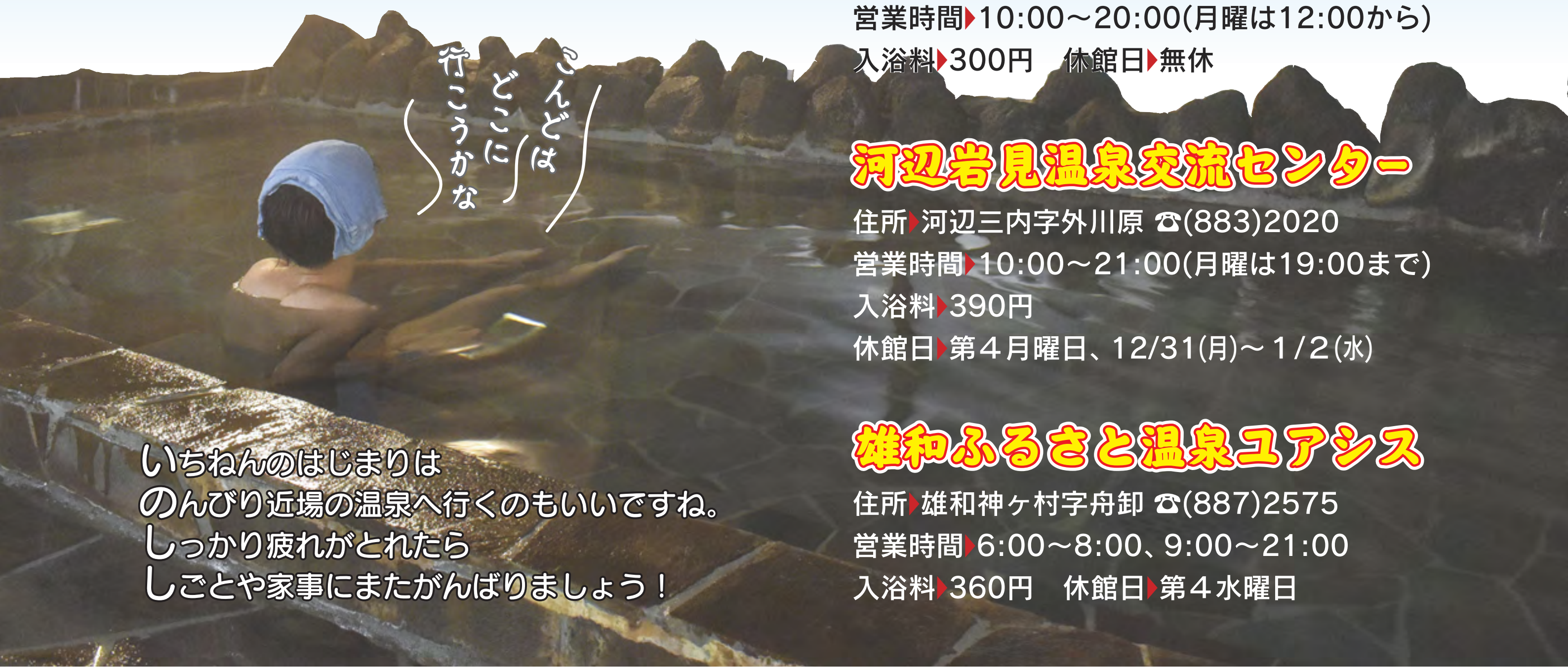
いざっ！キラキラの世界へ

冬のインスタ映えの定番「イルミネーション」。エリアなかいちや秋田駅周辺では、冬を素敵に彩り〝あったかい雪降る街〟を演出する「あきた光のファンタジー」を２月28日(木)まで開催しています。

中心市街地全体が美しい光に包まれる、冬ならではのイベント♪ ぜひお越しください！

問▶にぎわい交流館☎(853)1133
ホームページ▶http://akita-nakaichi.com/winter-park/

湯っこでスタートを！



いちねんのはじまりは
のんびり近場の温泉へ行くのもいいですね。
しっかり疲れがとれたら
しごとや家事にまたがんばりましょう！

クアドーム ザ・ブーン（展望風呂）

住所▶仁別字マンタラメ ☎(827)2301
営業時間▶10:00～20:00　入館料▶510円
休館日▶木曜日(不定)(年末年始は無休)

森林学習館木こりの宿

住所▶仁別字マンタラメ ☎(827)2111
営業時間▶10:00～20:00(月曜は12:00から)
入浴料▶300円　休館日▶無休

河辺岩見温泉交流センター

住所▶河辺三内字外川原 ☎(883)2020
営業時間▶10:00～21:00(月曜は19:00まで)
入浴料▶390円
休館日▶第４月曜日、12/31(月)～１/２(水)

雄和ふるさと温泉ユアシス

住所▶雄和神ヶ村字舟卸 ☎(887)2575
営業時間▶6:00～8:00、9:00～21:00
入浴料▶360円　休館日▶第４水曜日

＊大人料金のみ記載しています。また、年末年始で営業時間が変更する施設もありますので、お出かけ前にご確認ください。

広報あきた 編集発行■秋田市役所広報広聴課　〒010-8560 秋田市山王一丁目１番１号　☎018(888)5471　■この冊子は単価１部16.956円です